

(株)システック

しゃべりんこ

SOA-121z v1.0

SISTEC Co., Ltd.

リファレンスマニュアル

目次

第1部 はじめに

SOAzCtl コントロールの特長	4
必要なハードウェアとソフトウェア	5
ユーザ登録について	6
お問い合わせについて	7
配布ファイルについて	8
SOAzCtl コントロールをインストールする	9
プロジェクトに組み込む	11
SOAzCtl コントロールをアンインストールする	12

第2部 SOAzCtl コントロールをお使い頂くにあたって

1 SOAzCtl コントロールの使い方

1.1 通信ポートを設定する	14
1.2 相手先へ電話をかける	15
1.3 音声を再生する	16
1.4 トーン信号を取り込む	17
1.5 電話を切る	18
1.6 SOA-121z の状態を確認する	19
1.7 プログラミングの実際	20

2 カスタムプロパティ

2.0 プロパティ一覧	23
2.1 CommPort	24

3 カスタムメソッド

3.0	メソッド一覧	2 5
3.1	Dial	2 6
3.2	MonitorIn1	2 7
3.3	MonitorIn2	2 8
3.4	MonitorOut	2 9
3.5	MonitorPower	3 0
3.6	MonitorVoice	3 1
3.7	OnHook	3 2
3.8	PortClose	3 3
3.9	PortOpen	3 4
3.10	VoicePlay	3 5

4 カスタムイベント

4.0	イベント一覧	3 6
4.1	Dtmf	3 7
4.2	LineOut	3 8
4.3	VoiceEnd	3 9

第3部 ご参考までに

5 SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

5.0	SOA-121z 制御コマンド一覧	4 1
5.1	Dial	4 3
5.2	MonitorIn1	4 4
5.3	MonitorIn2	4 5
5.4	MonitorOut	4 6
5.5	MonitorPower	4 7
5.6	MonitorVoice	4 8
5.7	OnHook	4 9
5.8	PortOpen	5 0
5.9	VoicePlay	5 1

第1部 はじめに

SOAzCtl コントロールの特長

必要なハードウェアとソフトウェア

ユーザ登録について

お問い合わせについて

配布ファイルについて

SOAzCtl コントロールをインストールする

プロジェクトに組み込む

SOAzCtl コントロールをアンインストールする

SOAzCtl コントロールの特長

はじめに

SOAzCtl コントロールは、弊社製品であります音声案内システム「しゃべりんこ」SOA-121z（以降、SOA-121z と略します。）に関するアプリケーションの作成を開発者が容易に行える様、SOA-121zの基本動作をライブラリ化したものです。

SOAzCtl コントロールをお使い頂く場合には、SOA-121zをお使いのコンピュータへ接続して頂く必要があります。

Visual Basic に最適化された新設計

SOAzCtl コントロールは、従来のハードウェアとソフトウェアの間に存在する複雑なインタフェースを全て内蔵しており、Visual Basic との互換性を配慮して設計されていますので、開発者は、とまどうことなく簡単にSOA-121zを使いこなすことができます。

幅広い用途を実現する自由度の高さ

SOAzCtl コントロールは、SOA-121zの基本機能を全て実装していますので、お使い頂く目的に合わせて、それぞれの機能を自由に組み合わせることにより幅広い用途でご使用頂けます。

必要なハードウェアとソフトウェア

はじめに

SOAzCtl コントロールをご使用頂くには、次のハードウェアとソフトウェアが必要です。

ハードウェア

- ・ Windows 95 日本語版 , Windows 98 日本語版
または、Windows NT 4.0 日本語版が動作する環境
- ・ 3.5 インチフロッピーディスクドライブ
- ・ 音声案内システム「しゃべりんこ」SOA-121z

ソフトウェア

- ・ Windows 95 日本語版 , Windows 98 日本語版
または、Windows NT 4.0 日本語版
- ・ Visual Basic 5.0 日本語版

ユーザ登録について

はじめに

音声案内システム「しゃべりんこ」をお買い上げ頂きありがとうございます。

販売店で購入された場合

製品パッケージの中には、「ユーザ登録カード」が入っています。
必要事項をご記入の上、できるだけ早くご返送くださいますようお願い致します。

この「ユーザ登録カード」により正規ユーザの登録をいたします。製品サポートは、ユーザ登録完了後に可能となります。また、登録されていないお客様には、バージョンアップや製品改良のお知らせができません。これらのサービスを受けて頂くためにも、ぜひとも「ユーザ登録カード」をご返送くださいますようお願い申し上げます。

直接購入された場合

製品パッケージを弊社から直接購入された場合は、購入時点で登録手続きを行いますので「ユーザ登録カード」をお送り頂く必要はございません。

登録完了のお知らせ

ユーザ登録完了後に、ユーザIDと製品シリアル番号を記載したハガキをお送り致します。

ユーザIDと製品シリアル番号は、テクニカルサポートをお受けになる際に必要となりますので、このハガキは大切に保管して下さい。

お問い合わせについて

はじめに

このマニュアルに記述されていない事柄または異常な動作につきましては、下記の手順に従って弊社までお問い合わせ下さい。尚、弊社でのサポートは、弊社が販売する製品に関する事柄に限らせて頂きます。プログラミング技法などの一般的なご質問にはお答えいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせになる前に

お問い合わせ頂いた際に、下記について確認させていただきます。
あらかじめ、これらの情報をご用意ください。

登録の内容

- 1) ユーザID, お名前, 電話番号
- 2) 製品のシリアル番号
- 3) 製品のバージョン番号

ご使用の環境

- 1) コンピュータ機種などのハードウェア環境
- 2) コンピュータOSなどのソフトウェア環境

問題の内容

- 1) 問題となっている症状
- 2) 問題が発生するまでの経緯
- 3) 問題が発生している箇所
- 4) 問題を再現できるかどうか

お問い合わせ先

株式会社 システック 「しゃべりんこ」サポート係
〒783-0006 高知県南国市篠原 1969-1
TEL 0888-64-0160 FAX 0888-64-0166
E-mail: sistec@mail.i-kochi.or.jp
<http://www.i-kochi.or.jp/hp/sistec>

ファイルの配布について

はじめに

SOAzCtl コントロールを使ってアプリケーションを作成及び配布する場合には、SOAzCtl のファイルを添付する必要があります。これは、Visual Basic の実行時専用 DLL をアプリケーションと一緒に配布するのと同じです。

アプリケーションのユーザは、次のファイルと関連する依存ファイルをインストールし、システムのレジストリへ登録する必要があります。

SOAzCtl.ocx : SOAzCtl コントロール

【依存ファイル】

mscomm32.ocx : MSComm コントロール (Microsoft 社の製品です。)

ご注意

上記のファイルは、弊社との特別な契約なしに自由に配布することができます。ただし、本製品に含まれているファイルのうち、上記以外のファイルを配布することはできません。

SOAzCtl コントロールをインストールする

はじめに

「しゃべりんこ」の製品ディスクにふくまれているインストールプログラム (SETUP.EXE) は、指定されたハードディスクに新しいフォルダ (デフォルトでは ¥SOAzCtl) を作成し、製品ディスクから一連のファイルをコピーします。

ここでは、Windows 98 で、「しゃべりんこ」の製品ディスクを挿入するフロッピーディスクドライブを A とし、インストール先のハードディスクドライブを C とした場合について説明させていただきます。

空き領域の確認

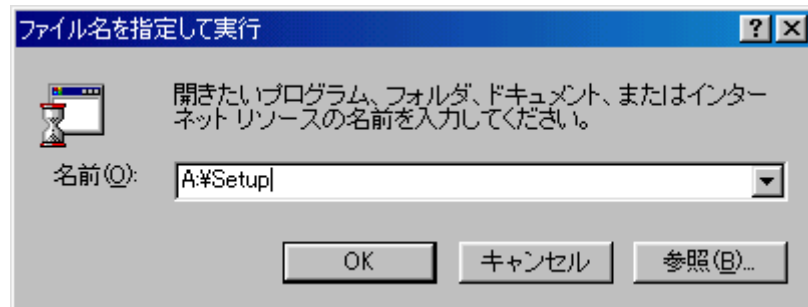
インストール作業を始める前に、「しゃべりんこ」をインストールしようとするドライブに 3 MB 以上の空き領域があることを確認してください。

インストールの手順

- 1) Windows 98 を起動します。
- 2) 「しゃべりんこ」の製品ディスクをフロッピーディスクドライブへ挿入します。
- 3) タスクバーのメニューから [ファイル名を指定して実行] を選択します。



- 4) [ファイル名を指定して実行]ウインドウの[名前(O)]の項目に「A:¥Setup」と入力し、<OK>ボタンをクリックしてください。



- 5) インストールプログラムが起動します。画面に表示される説明に従って操作してください。

プロジェクトへ組み込む

はじめに

ここでは、SOAzCtl コントロールをプロジェクトへ組み込む手順を Visual Basic 5.0 日本語版の場合を例にあげて説明します。
その他の開発環境への組み込み方については、各開発環境のリファレンスマニュアルを参照してください。

組み込み手順

- 1) 「プロジェクト(P)」メニューから「コンポーネント(O)」を選択します。
- 2) 「コントロール」タブから次の項目を選択して<OK>ボタンをクリックします。
[SOAzControl] : SOAzCtl コントロール
- 3) ツールボックスに組み込んだコントロールのアイコンが表示されます。



SOAzCtl コントロール

SOAzCtl コントロールをアンインストールする

はじめに

インストール時に「しゃべりんこ」の製品ディスクからハードディスクへコピーした内容を削除し、お使いの環境で SOAzCtl コントロールを使用できなくします。

アンインストールの手順

- 1) タスクバーのメニューから[設定]の[コントロール パネル]を選択します。
- 2) 「コントロール パネル」より「アプリケーションの追加と削除」を選択し、クリックします。
- 3) インストールされているアプリケーションの一覧から「しゃべりんこ v1.0」を選択して[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 4) アンインストールプログラムが起動します。画面に表示される説明に従って操作してください。

第2部 SOAzCtl コントロールをお使い頂くにあたって

第1章 SOAzCtl コントロールの使い方

第2章 カスタムプロパティ

第3章 カスタムメソッド

第4章 カスタムイベント

第1章 SOAzCtl コントロールの使い方

1.1 通信ポートを設定する

お使いのコンピュータに SOA-121z を接続する際に使用する通信ポート番号を指定します。

SOAzCtl コントロールは、指定された通信ポートに SOA-121z が接続されていると仮定して内部処理を行います。

指定された通信ポートに SOA-121z が接続されていない場合、PortOpen メソッドを実行した時点でエラーとなります。

詳しくは、CommPort プロパティ、及び、PortOpen メソッドの説明を参照してください。

Visual Basic プログラミング

ここでは、SOAzCtl コントロールを SOAzCtl1 として説明します。

Comm1 を SOA-121z の通信ポートとして設定します。

```
SOAzCtl1.CommPort = 1
```

通信ポートをオープンします。

```
If SOAzCtl1.PortOpen() = True Then
```

```
    MsgBox "通信ポートをオープンしました。"
```

```
Else
```

```
    MsgBox "通信ポートオープンに失敗しました。"
```

```
End If
```

1.2 相手先へ電話をかける

SOAzCtl コントロールの使い方

SOAzCtl コントロールに対して音声案内を行いたい相手先の電話番号を設定します。

SOAzCtl コントロールは、指定された相手先へダイヤルし、電話回線を接続させます。

詳しくは、Dial メソッドの説明を参照してください。

Visual Basic プログラミング

ここでは、SOAzCtl コントロールを SOAzCtl1 として説明します。

```
Telno$ = "0888-12-3456"  
Ret% = SOAzCtl1.Dial(Telno$)  
Select Case Ret%  
    Case 0  
        MsgBox "Dial 正常接続"  
    Case 1  
        MsgBox "30 秒以上接続されない"  
    Case 2  
        MsgBox "現在、回線に呼び出しがかかっている"  
    Case 3  
        MsgBox "電話回線が接続されていない"  
    Case 4  
        MsgBox "現在、接続中"  
    Case 5  
        MsgBox "3 分以内に 4 回以上発信制御をした"  
    Case -1  
        MsgBox "Dial Error"  
End Select
```


1.3 音声を再生する

SOAzCtl コントロールの使い方

SOAzCtl コントロールに対して音声案内したいメッセージを設定します。

SOAzCtl コントロールは、指定されたメッセージを接続中の相手先へ送出します。

詳しくは、VoicePlay メソッドの説明を参照してください。

Visual Basic プログラミング

ここでは、SOAzCtl コントロールを SOAzCtl1 として説明します。

```
Msg$ = "サンプルメッセージです。"  
If SOAzCtl1.VoicePlay(Msg$) = True Then  
    MsgBox "音声出力を開始しました。"  
Else  
    MsgBox "VoicePlay Error"  
End If
```

1.4 トーン信号を取り込む

SOAzCtl コントロールの使い方

SOAzCtl コントロールは、音声案内メッセージ送出後に、相手先からの DTMF 信号（押しボタンの信号）をキャッチすることができます。

音声案内メッセージの送出と相手先から DTMF 信号の受信を組み合わせれば相手先と対話形式のオペレーションを簡単に実現できます。

詳しくは、Dtmf イベントの説明を参照してください。

Visual Basic プログラミング

ここでは、SOAzCtl コントロールを SOAzCtl1 として説明します。

```
Private Sub SOAzCtl1_Dtmf(strDtmf As Integer)
```

```
    MsgBox CStr(strDtmf) & "が確認されました", vbInformation, "Dtmf イベント発生"
```

```
End Sub
```

1.5 電話を切る

SOAzCtl コントロールの使い方

SOAzCtl コントロールに対して回線切断を指示します。

SOAzCtl コントロールは、接続中の電話回線を切断させます。

詳しくは、OnHook メソッドの説明を参照してください。

Visual Basic プログラミング

ここでは、SOAzCtl コントロールを SOAzCtl1 として説明します。

```
If SOAzCtl1.OnHook() = True Then
    MsgBox "回線を切断しました", vbOKOnly + vbInformation
Else
    MsgBox "OnHook Error", vbOKOnly + vbCritical, "回線切断エラー発生"
End If
```

1.6 SOA-121z の状態を確認する

SOAzCtl コントロールの使い方

SOA-121z の動作状態を SOAzCtl コントロールを介して確認することができます。

SOAzCtl コントロールに対して状態確認を指示します。
SOAzCtl コントロールは、SOA-121z よりその時点の動作状態を取得します。

詳しくは、以下の動作状態確認メソッドの説明を参照してください。

- ・ MonitorIn1 メソッド
- ・ MonitorIn2 メソッド
- ・ MonitorOut メソッド
- ・ MonitorPower メソッド
- ・ MonitorVoice メソッド

Visual Basic プログラミング

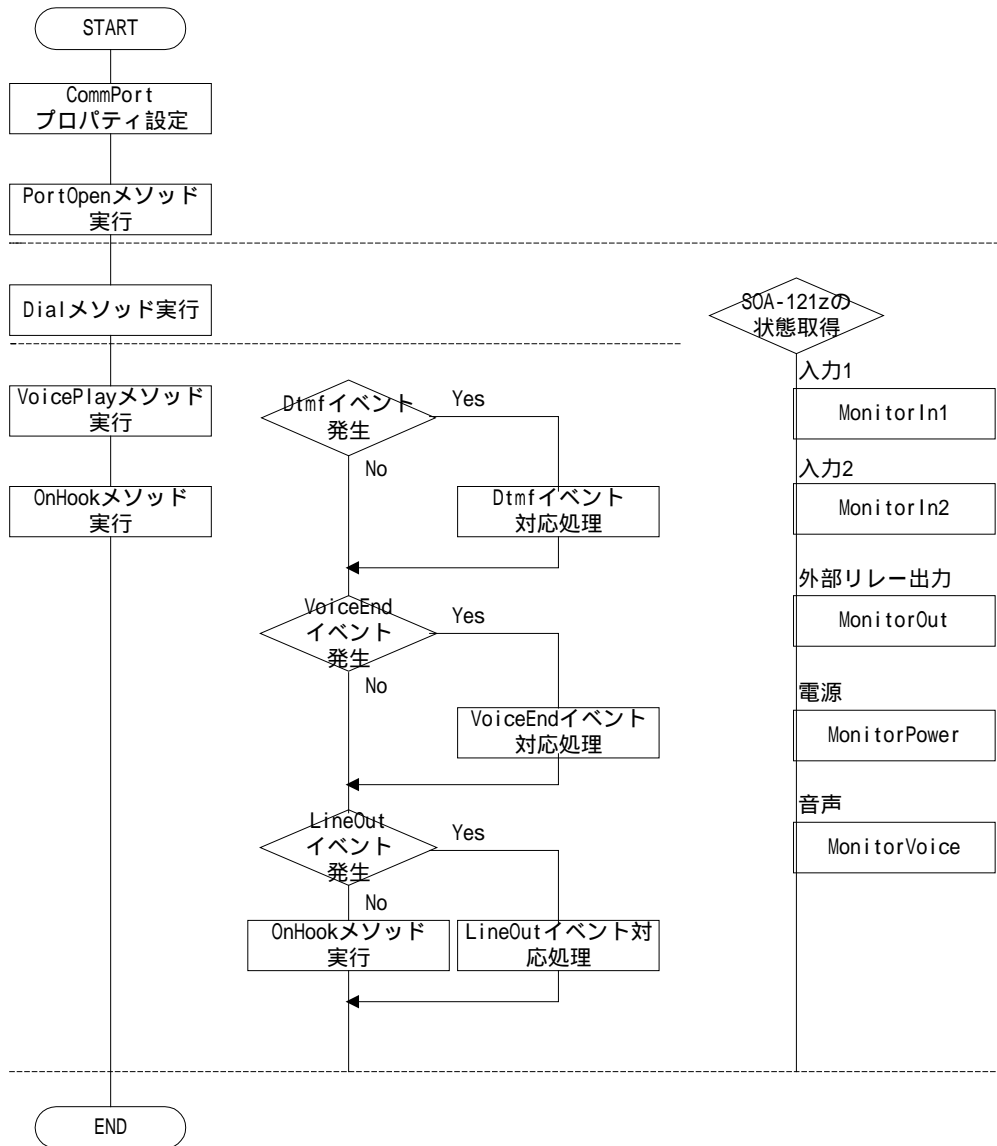
ここでは、SOAzCtl コントロールを SOAzCtl1 とし
動作状態確認メソッドには、MonitorPower を使用して説明します。

```
Ret% = SOAzCtl1.MonitorPower( )
Select Case Ret%
  Case 0
    MsgBox "停電中"
  Case 1
    MsgBox "正常動作中"
  Case -1
    MsgBox "MonitorPower Error"
End Select
```

1.7 プログラミングの実際

SOAzCtl コントロールの使い方

SOAzCtl コントロールを使ってプログラミングする場合の一般的な処理の順序を以下にフローで示します。



SOAzCtl コントロールを使ったプログラミングの例です。

```
Portno% = 1
```

```
Telno$ = "0888-12-3456"
```

```
Msg$ = "サンプルプログラムです。"
```

```
If SOAzCtl1.PortOpen(Portno%) = True Then
```

```
    lblmsg.Caption = "ポートオープン成功"
```

```
    Ret% = SOAzCtl1.Dial(Telno$)
```

```
    Select Case Ret%
```

```
        Case 0
```

```
            lblmsg.Caption = "Dial 正常接続"
```

```
            If SOAzCtl1.VoicePlay(Msg$) = True Then
```

```
                lblmsg.Caption = "音声出力開始"
```

```
            Else
```

```
                lblmsg.Caption = "VoicePlay Error "
```

```
            End If
```

```
        Case 1
```

```
            lblmsg.Caption = "30 秒以上接続されない"
```

```
        Case 2
```

```
            lblmsg.Caption = "現在、回線に呼び出しがかかっている"
```

```
        Case 3
```

```
            lblmsg.Caption = "電話回線が接続されていない"
```

```
        Case 4
```

```
            lblmsg.Caption = "現在、接続中"
```

```
        Case 5
```

```
            lblmsg.Caption = "3 分以内に4 回以上発信制御をした"
```

```
        Case -1
```

```
            lblmsg.Caption = "Dial Error"
```

```
    End Select
```

```
Else
```

```
    lblmsg.Caption = "PortOpen Error "
```

```
End If
```

次頁へ続く。

1.7 プログラミングの実際

SOAzCtl コントロールの使い方

前頁からの続き。

```
Private Sub SOAzCtl1_Dtmf(strDtmf As Integer)
    MsgBox CStr(strDtmf) & "が確認されました", vbInformation, "Dtmf イベント発生"
End Sub
```

```
Private Sub SOAzCtl1_LineOut()
    MsgBox "回線が開放されました", vbInformation, "LineOut イベント発生"
End Sub
```

```
Private Sub SOAzCtl1_VoiceEnd()
    If SOAzCtl1.OnHook = True Then
        MsgBox "回線を切断しました", vbInformation
    Else
        MsgBox "OnHook ERROR", vbCritical, "エラー発生"
    End If
EndSub
```

このプログラムは「サンプルプログラムです。」と音声案内した後に一方的に接続先から電話回線を切断します。

第2章 カスタムプロパティ

2.0 プロパティ一覧

SOAzCtl コントロールがサポートするプロパティを示します。

プロパティ一覧

名称	機能
CommPort	通信ポート番号の設定

2.1 CommPort

カスタムプロパティ

機能 通信ポートの番号を設定します。

書式 [form.] **SOAzCtl.CommPort** = PortNumber%

設定値 整数型
ポート番号 (1 ~ 4 : デフォルト 1)

用法 設定時 : 設定及び参照
実行時 : 設定及び参照

解説 無効な通信ポート番号を指定すると、SOAzCtl コントロールは、PortOpen メソッド実行時にエラー (戻り値 : *False*) を発生させます。
詳しくは、「PortOpen メソッド」を参照してください。

ワンポイント PortOpen メソッドを実行する前に **CommPort** プロパティを設定してください。

第3章 カスタムメソッド

3.0 メソッド一覧

SOAzCtl コントロールがサポートするメソッドを示します。
カスタムメソッドは、SOA-121zの制御や状態の取得、そして、
SOAzCtlコントロールを使用するにあたっての初期設定を行います。
本項では各メソッドについて詳細に説明します。

メソッド一覧

名称	機能
Dial	任電話番号への発信制御
MonitorIn1	SOA-121z の入力 1 の状態取得
MonitorIn2	SOA-121z の入力 2 の状態取得
MonitorOut	SOA-121z の外部リレー出力の状態取得
MonitorPower	SOA-121z の電源状態の取得
MonitorVoice	SOA-121z の音声状態の取得
OnHook	電話回線の切断
PortClose	使用する通信ポートをクローズ
PortOpen	使用する通信ポートをオープン（初期設定）
VoicePlay	音声の再生

3.1 Dial

カスタムメソッド

機能 SOA-121z から任意の電話番号へ発信制御を行います。

書式 `ret% = [form.] SOAzCtl.Dial(DialNo$)`

引数 `DialNo$` = 文字列型

[0 ~ 9] [-] [:] で構成された電話番号。
キャラクタで判断し、それ以外は無視されます。
また、有効な文字列は最大 16 文字とします。

戻り値 `ret%` = 整数型

- | | |
|-----|-----------------------|
| 0 | 正常に接続した |
| 1 | 30 秒以上接続されない |
| 2 | 現在、回線に呼出がかかっている |
| 3 | 電話回線が接続されていない |
| 4 | 現在、接続中 |
| 5 | 3 分以内に 3 回を越えて発信制御をした |
| - 1 | 取得失敗・ポート未オープン |

解説 SOA-121z に対して相手先へ電話をかけ電話回線を接続するように指示します。

3.2 MonitorIn1

カスタムメソッド

機能 SOA-121z の入力 1 の状態を取得します。

書式 $ret\% = [form.] SOAzCtl.MonitorIn1$

戻り値 $ret\% =$ 整数型

0	入力 1 OFF
1	入力 1 ON
- 1	取得失敗・ポート未オープン

解説 SOA-121z の外部入力 1 の状態を確認することができます。

3.3 MonitorIn2

カスタムメソッド

機能 SOA-121z の入力 2 の状態を取得します。

書式 $ret\% = [form.] SOAzCtl.MonitorIn2$

戻り値 $ret\% =$ 整数型

0	入力 2 OFF
1	入力 2 ON
- 1	取得失敗・ポート未オープン

解説 SOA-121z の外部入力 2 の状態を確認することができます。

3.4 MonitorOut

カスタムメソッド

機能 SOA-121z の外部リレー出力の状態を取得します。

書式 `ret% = [form.] SOAzCtl.MonitorOut`

戻り値 `ret%` = 整数型

- `0` 外部リレー出力 OFF
- `1` 外部リレー出力 ON
- `- 1` 取得失敗・ポート未オープン

解説 SOA-121z の外部リレー出力の状態を確認することができます。

3.5 MonitorPower

カスタムメソッド

機能 SOA-121z の電源の状態を取得します。

書式 `ret% = [form.] SOAzCtl.MonitorPower`

戻り値 `ret%` = 整数型

0	停電中
1	通常状態
- 1	取得失敗・ポート未オープン

解説 SOA-121z の電源の状態を確認することができます。

3.6 MonitorVoice

カスタムメソッド

機能 SOA-121z の音声の再生状態を取得します。

書式 $ret\% = [form.] SOAzCtl.MonitorVoice$

戻り値 $ret\% =$ 整数型

- 0 音声停止中
- 1 音声再生中
- 1 取得失敗・ポート未オープン

解説 SOA-121z の音声の再生状態を確認することができます。

3.7 OnHook

カスタムメソッド

機能 SOA-121z を回線切断の状態にします。

書式 { *True* | *False* } = [*form.*] **SOAzCtl.OnHook**

戻り値 *ret%* = 整数型

True 正常に切断した

False 切断失敗・ポート未オープン

解説 SOA-121z に対して相手先と接続中の電話回線を切断するように指示します。

3.8 PortClose

カスタムメソッド

機能 通信ポートをクローズします。

書式 { *True* | *False* } = [*form.*] **SOAzCtl.PortClose**

戻り値 整数型

<i>True</i>	クローズ成功
<i>False</i>	クローズ失敗

解説 SOA-121z が使用している通信ポートをクローズします。

3.9 PortOpen

カスタムメソッド

機能 使用する通信ポート番号を設定し、以下の設定で通信ポートをオープンします。

通信速度 2,400bps
キャラクタ長 8bit
パリティビット 無し
ストップビット 1bit
通信方式 調歩同期

書式 { *True* | *False* } = [*form.*] *SOAzCtl.PortOpen*(*PortNo*%)

引数 *PortNo*% = 整数型

1 ~ 3 : オープンする通信ポートの番号

戻り値 整数型

True オープン成功
False オープン失敗

解説 SOA-121z が使用する通信ポートをオープンします。

戻り値が *True* なら通信ポートは、使用可能な状態であり、他のメソッドが使用することが可能となります。

ワンポイント 本メソッドを実行していない限り、他のメソッドの戻り値をすべて失敗 (*False*) 状態とします。

3.10 VoicePlay

カスタムメソッド

機能 SOA-121z に任意の音声を出力します。

書式 { *True* | *False* } = [*form.*] *SOAzCtl.VoicePlay(Message\$)*

引数 *Message\$* = 文字列型

出力させたい音声をテキスト形式で設定します。
テキスト内容はシフト JIS 形式とし、設定することのできる文字列の
長さは、最大 255 バイト迄とします。

戻り値 *ret%* = 整数型

True 正常に音声出力を開始した
False 再生失敗・ポート未オープン

解説 SOA-121z に文章をテキスト形式で引き渡し、音声として再生させます。

第4章 カスタムイベント

4.0 イベント一覧

SOAzCtl コントロールがサポートするイベントを示します。

カスタムイベントは、SOA-121z において発生する各状態を割り込み処理の発生によって知らせるものです。
本項では各イベントについて詳細に説明します。

イベント一覧

名称	機能
Dtmf	DTMF 信号が入力された時に発生
LineOut	回線が開放された時に発生
VoiceEnd	音声出力が終了した時に発生

4.1 Dtmf

カスタムイベント

機能 DTMF 信号が確認された時に発生します。

書式 `SOAzCtl_Dtmf`(ByVal *DTMF%* as Integer)

引数 *DTMF%* = 整数型

受信した DTMF。

0 ~ 9、*、# を ASCII コード化したキャラクタの構成。

解説 相手先より SOA-121z を介して DTMF 信号を受信した時点で発生します。

ワンポイント このイベントを使用することによって、例えば、相手先より 9 # を受信した場合には、メッセージを再送出し、0 # を受信した場合には、回線を切断するといった機能を実現することができます。

4.2 LineOut

カスタムイベント

機能 回線が開放された時に発生します。

書式 `SOAzCtl_LinOut`

解説 相手先と SOA-121z が接続している電話回線が切断された時点で発生します。

4.3 VoiceEnd

カスタムイベント

機能 音声の再生が終了した時に発生します。

書式 `SOAzCtl_VoiceEnd`

解説 SOA-121z が相手先に対する音声の再生を終了した時点で発生します。

第3部 ご参考までに

第5章 SOA-121zのRS-232C接続制御に関するご説明

第5章 SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

5.0 SOA-121z 制御コマンド一覧

本章では、SOAzCtl コントロールによる SOA-121z の制御方法をご説明します。

SOA-121z との RS-232C 接続通信については、音声終了コードを除き、全て ASCII コードを使用しています。

以降の説明は、それをすべてキャラクタで表現したものです。

各コマンドの末尾には、必ずデミリタとして CR・LF (0Dh・0Ah) を付加します。また、SOA-121z から送られてくるレスポンスにもデミリタコードは付加されます。但し、音声終了コードには、デミリタコードを付加しません。

コマンドの例

要求コマンド

ASCII コード

M	O	N	CR	LF
(4D)h	(4F)h	(4E)h	(0D)h	(0A)h

制御コマンド一覧表

機能	要求コマンド	動作	レスポンス
電話番号の発信	CQ (0~9, :) [0 ~ 9] 通常のダイヤル [:] 3.5 秒間の発信停止	正常接続	LC
		30 秒以上接続なし	CC1
		発信中に呼び出しあり	CC2
		回線がつながれていない	CC3
		現在接続中	CC4
		3 分以内に同じ電話番号に 4 回以上発信があった	DC*** *=残時間
		回線が開放された	LO
回線の切断	OH	回線を開放する OK レスポンス返信までに 3 秒の時間がかかる。	OK
音声の再生準備	PL	正常動作	OK
音声の停止	(FF)h・(FF)h このコードのみ 16 進数 (ハ行リ)表示	音声の停止	OK
第 2 PB トーン の取込		PT0 ~ 9、#、*の取込()	PT* *=DTMF
本機のモニタ	MON	本機の状況確認 MON・n1・n2・n3・n4・n5	-
		・n1 入力 1 ON= 1 OFF= 0 ・n2 入力 2 ON= 1 OFF= 0 ・n3 停電 停電= 1 正常= 0 ・n4 出力 ON= 1 OFF= 0 ・n5 音声 再生= 1 停止= 0	

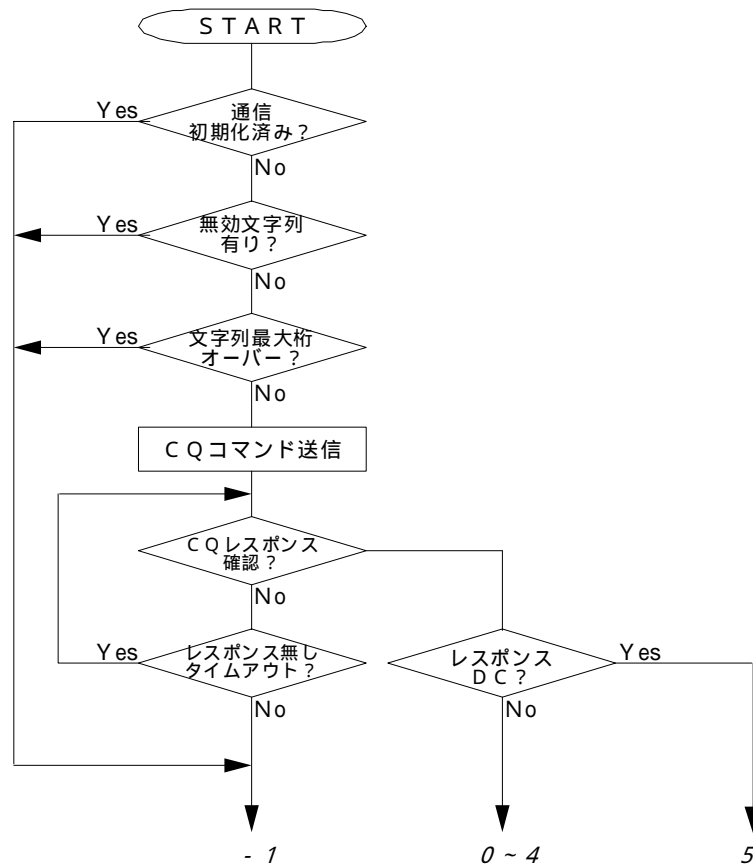
() 無人の端末には、リダイヤル規制があり、3 分以内に同じ番号に 4 回以上
電話をかけてはいけません。
この端末 SOA-121z についても、その規定に基づき製作されています。

5.1 Dial

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 SOA-121z に対して CQ コマンドを送信します。

レスポンスの状態から発信制御結果を判断し、結果を確定します。
コマンドの詳細については、「関連コマンド一覧表」を参照してください。

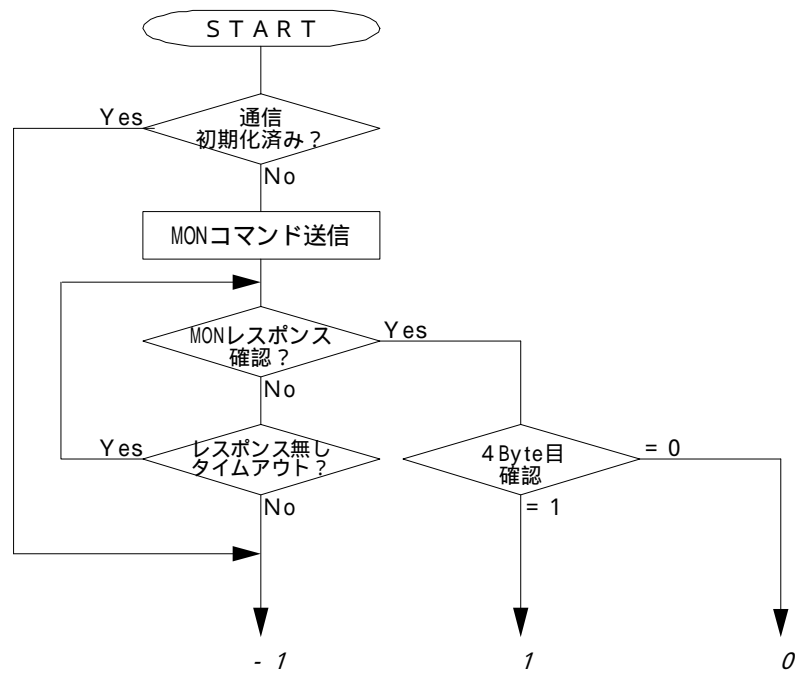


5.2 MonitorIn1

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 SOA-121z に対して MON コマンドを送信します。

レスポンスの状態から入力 1 の状態を判断し、結果を確定します。
入力 1 の状態は MON レスポンスの 4 バイト目を参照します。
コマンドの詳細については、「関連コマンド一覧表」を参照してください。

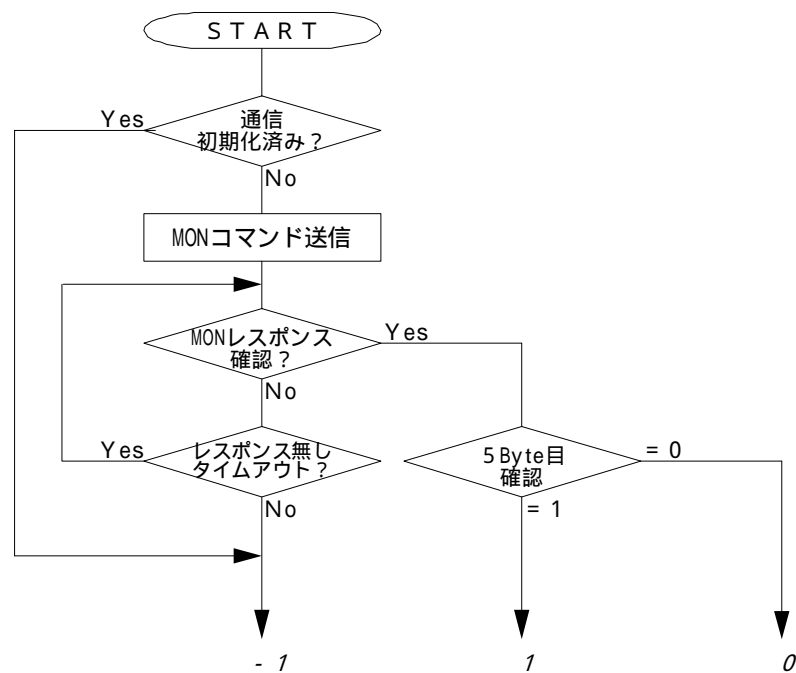


5.3 MonitorIn2

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 SOA-121z に対して MON コマンドを送信します。

レスポンスの状態から入力 2 の状態を判断し、結果を確定します。
入力 2 の状態は MON レスポンスの 5 バイト目を参照します。
コマンドの詳細については、「関連コマンド一覧表」を参照してください。

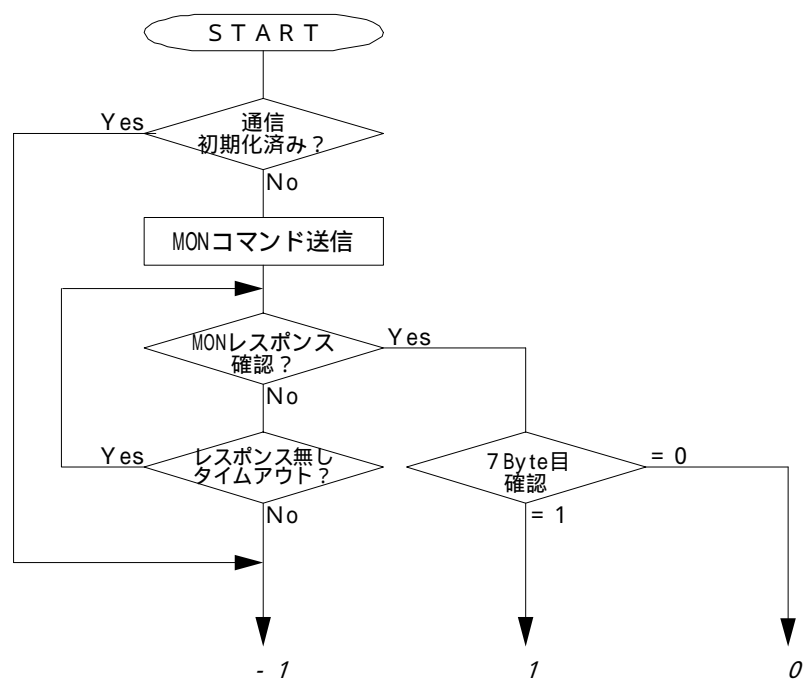


5.4 MonitorOut

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 SOA-121z に対して MON コマンドを送信します。

レスポンスの状態から外部リレー出力の状態を判断し、結果を確定します。
外部リレー出力の状態は MON レスポンスの 7 バイト目を参照します。
コマンドの詳細については、「関連コマンド一覧表」を参照してください。

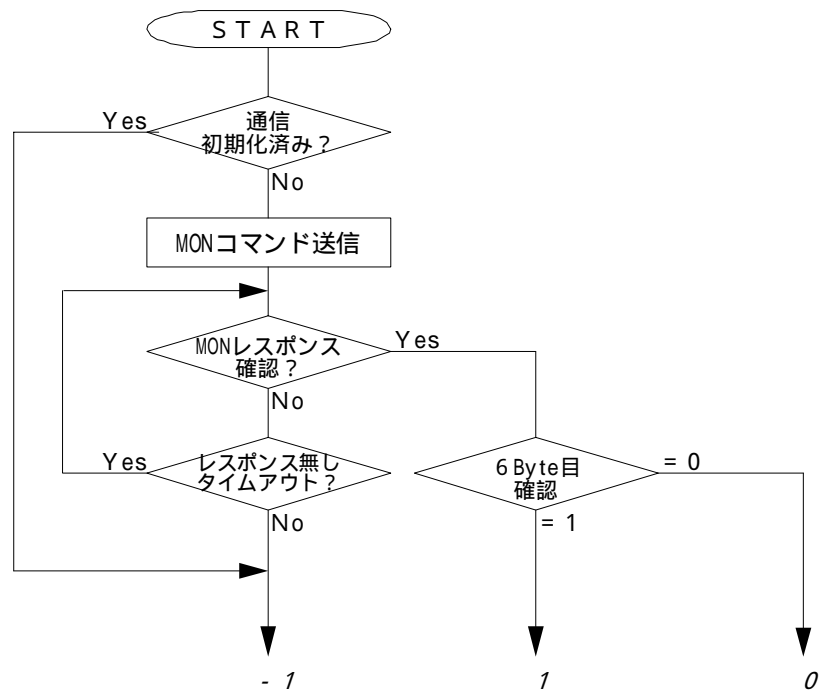


5.5 MonitorPower

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 SOA-121z に対して MON コマンドを送信します。

レスポンスの状態から電源の状態を判断し、結果を確定します。
電源の状態は MON レスポンスの 6 バイト目を参照します。
コマンドの詳細については、「関連コマンド一覧表」を参照してください。

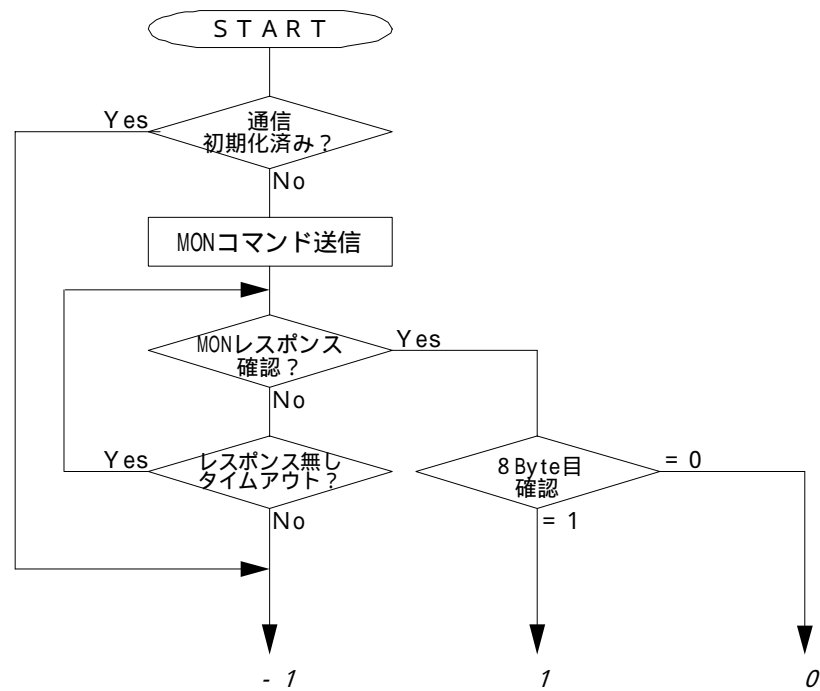


5.6 MonitorVoice

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 SOA-121z に対して MON コマンドを送信します。

レスポンスの状態から音声の再生状態を判断し、結果を確定します。
音声の再生は MON レスポンスの 8 バイト目を参照します。
コマンドの詳細については、「関連コマンド一覧表」を参照してください。

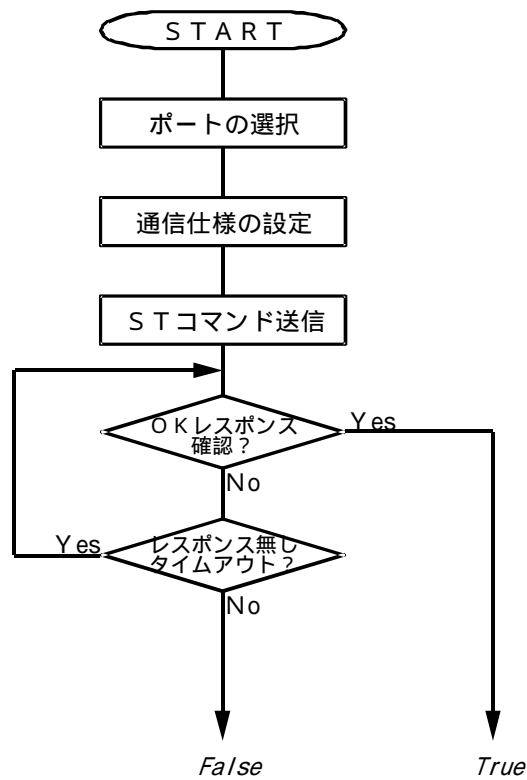


5.7 OnHook

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 SOA-121z に対して OH コマンドを送信します。

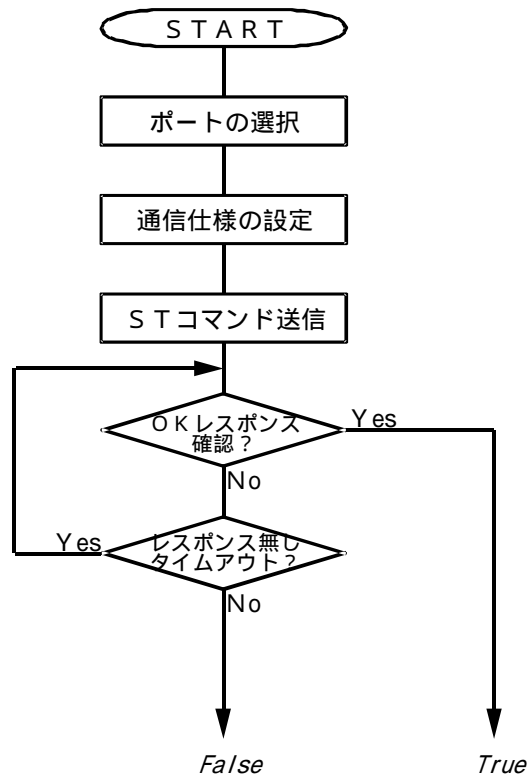
レスポンスの状態から制御結果を判断し、結果を確定します。
コマンドの詳細については、「関連コマンド一覧表」を参照してください。



5.8 PortOpen

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 通信ポートをオープンした後、SOA-121z に対して ST コマンドを送信します。
OK 確認後、結果を確定します。

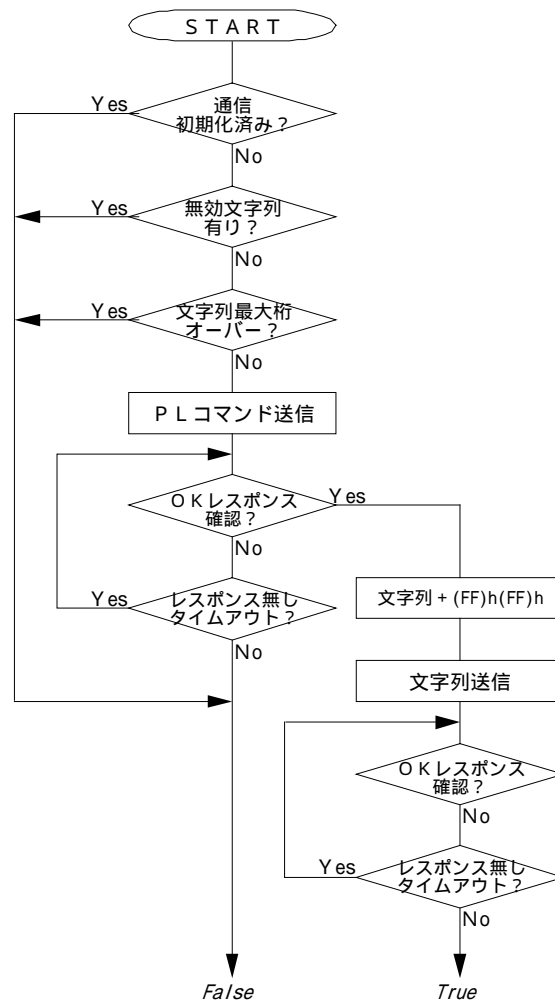


5.9 VoicePlay

SOA-121z の RS-232C 接続制御に関するご説明

解説 SOA-121z に対して P L コマンドを送信します。

OK レスポンスを確認後、設定されたテキスト文章を送信します。
テキスト文章を送信後、末尾に (FF) h を 2byte 付加します。(END コード)
レスポンスの状態から制御結果を判断し、結果を確定します。
コマンドの詳細については、「関連コマンド一覧表」を参照してください。



音声案内システム「しゃべりんこ」SOA-121z

SOAzCtl コントロール・リファレンスマニュアル

1998年10月1日 初版発行

発行 株式会社 システック

〒783-0006 高知県南国市篠原 1969-1
TEL 0888-64-0160 FAX 0888-64-0166
E-mail: sistec@mail.i-kochi.or.jp
http: <http://www.i-kochi.or.jp/hp/sistec>